

令和7年度 自己評価・学校関係者評価書（結果公表シート）

令和8年4月10日

認定こども園東海幼稚園

1 幼稚園の教育目標

- 1 心身共に健やかに明るく、進んで遊びやその仲間に加われる自主性に富んだ子供に教育する。
- 2 あやまちは素直に反省し、責任感を持ちうる子どもに教育する。
- 3 生き物とのふれあいを通し、命の大切さを実感し、生かし合い世の中のためにつくすということが出切る子供に教育する。
- 4 恵まれていることを喜び感謝し、自ら使命を果たす子供に教育する。

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

前年度に続き、積極的に地域活動(興津地区敬老クラブ・交流館祭り・敬老会・寒ざくら祭り)に参加し、興津地区公私立4カ園の年長児交流会“たいやきっこの会”参加や小学校訪問・小1担任との話し合いなど、幼小の連携が図れる活動を行い、個に合った援助を強化し、子どもたち一人ひとりの良さを引き出しながら生きる力(非認知能力)を育てる

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	反省並びに改善策	評価	関係者評価
保育の計画性	B	事前に教師間で話し合い、計画的に保育を行う姿が多々見られたが、個の育ちを見据えた細やかな計画が少し不十分だったので、次年度はそこに重きを置いて取り組みたい	B	前年度より計画の重要性を教師一人ひとりが感じ取り、活動する姿が見られたが、更に細かいところまで計画したら個々が成長するのではないかと思った
保育のあり方幼児への対応	B	個の育ちを意識し過ぎて、クラス全体としての育ちが少し疎かになっていたのではないか。次年度は個と全体のバランスを考えた保育のあり方を考えたい	A	一人ひとりへの対応は十分になされていると感じたので、今後も続けて欲しい
教師として資質能力、適正等	B	目的を持ち個人研修に取り組む職員も見られたが、今後は各自が自覚を持ち資質向上を目指せるようにしたい	B	教職員各自が目的を持ち、資質向上を目指す姿がみられた半面、そうでなかった教職員には自覚を持って取り組んでもらいたい

保護者への対応	A	前年度の反省を活かし、教師一人ひとりが意識を持ち保護者への対応(言動)に取り組めた	A	教職員間で、共有認識が持っていたから保護者対応ができていたと思った苦情などもなかった
地域の自然や地域との関わり	A	参加可能な地域行事には全て参加できた 今後も継続していきたい	A	意欲的に地域行事に参加している姿がみられ、参加する園児・教師共に楽しそうであった
研修と研究	B	園内研修では、内容を理解して研修する教師と手探りで取り組む教師がいて、温度差を感じた。今後は共通理解の基行いたい	B	問題点の認識度が教師間で大きく違っていたので、今後は共通理解の基、研修・研究を行って欲しい
外部アンケート	B	“かんがるーくらぶ”以外でも未就園児に参加してもらうことが出来、アンケートをとることができた	A	アンケートを基に、次に繋げようとする姿がかなりみられた

A 十分に成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果がなかった

#### 4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

地域活動や幼小連携に繋がる活動の計画を十分行い、他園との連携活動にも積極的に取り組む姿がみられた。教師の研修参加も多くみられた。  
また、教師一人ひとりが【非認知能力】について考え、子どもたちに“生きる力”を育もうとする姿もみられた

#### 5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
一人ひとりを大切に、みんなが居心地の良い、自分を十分に出せるクラスや園作りを目指す	必要とする支援は、“一人ひとり違う”ということ。“こどもがまんなか”の信念を大切に、個々に応じた援助を全教職員で考えたり、環境を整えたりして共に育つクラス作りや園作り、「インクルーシブ保育」を目指す→平等ではなく公平を目指す

#### 6 学校関係者評価委員会からのコメント

子どもたち一人ひとりが、毎日笑顔で過ごせる(大切にされる)(安心して過ごせる)居心地の良い園を目指し、教職員全員で協力し続けてください